



ROTARY CLUB OF YATSUSHIRO MINAMI BULLETIN

◇創立 昭和51年3月9日 ◇承認 昭和51年3月18日 ◇日本RC承認順位 1305番 ◇RIクラブNo.: 14933

◇例会日 毎週火曜日 ◇例会場 八代グランドホテル 八代市旭中央通り10 年度No.35

会長 神 蘭 敬八郎 幹事 里 順 一 編集者 緒 方 光 治 令和5年4月18日発行



イマジンロータリー IMAGINE ROTARY

2022-2023年度
RI会長
ジェニファー・ジョーンズ
Jennifer Jones

4月11日例会（第2203回）記録

司会 西崎SAA

四つのテスト 唱和

歌 国歌「君が代」

Rソング「奉仕の理想」

来訪者 緒方照道君（八代東）

連続出席47年表彰 緒方会員へ

会長の時間 神蘭会長

本日の会長の時間は、今週末基隆東ロータリークラブ創立46周年の私の祝辞をリハーサルさせていただきます。

祝 辞

基隆東ロータリークラブの皆様、創立46周年誠におめでとうございます。八代南ロータリークラブ会員一同心よりお祝い申し上げます。そして、このような晴れの式典にお招きいただきましたことに対して深くお礼申し上げます。貴クラブの46年の歴史と伝統、そして数々の奉仕活動の成果は、貴クラブの歴代会長をはじめク

4月25日の例会	5月2日の例会
訪台報告 国際奉仕委員会	会員卓話
VSOP今年度累計	337,275円

ラブメンバー皆様方の絶え間なきご努力の賜物であると、深甚なる敬意を表させていただきます。

貴クラブとは1979年に友好クラブ関係が結ばれ、以来44年間の親愛なる友としてお付き合いさせていただいております。短期交換留学生事業やVSOP（ポリオ撲滅企業基金）の共有事業、そして2018年4月に八代市と基隆市の友好交流協定の締結する際には、両クラブが橋渡し役として、行政間の交流にも寄与してまいりました。その関係により、八代市より中村市長、成松市議会議長が基隆東ロータリークラブの創立46周年のお祝いに来ていただいております。

コロナウイルス感染の影響で数年交流が中断し

出席報告 柳口委員長				欠 席 会 員 名		メークアップ済会員名		
本日の出席	会員総数	51名	出席率	岡村・大野・上原・稲本・有野・川崎・園川・鮫島・坂本・續・谷川・豊岡・中道・野尻・藤永・東・湊田・松岡・松嶋(宏)・宮田・矢住・山口・西・平田・松嶋(純)	計	25名	富（4/2 IAC） 宮川・清田 （コロナ対策）	
	出席会員数	22名						
	当日分メークアップ済会員数	3名						
	計	25名	50.00%					3名
3/28の修正	3/28の出席会員数	27名	前回補填会員名		計		名	
	補填会員数	0名						
	計	27名						52.94%
昨年	月出席会員数	名	%		計	名		
他出席メークアップ済会員名	出席免除：久原会員						計	名

ていましたが、今後も今まで以上の親睦交流をおこなって行きたいと思えます。末永いお付き合いをお願い致します。

最後になりましたが、貴クラブの46周年記念式典がご成功に終了することと、貴クラブの益々のご発展を祈念いたしますとともに、会員の皆様のご健康ご多幸をお祈りいたします。

今週末は基隆東ロータリークラブ創立46周年とRI第2720地区の地区大会とあります。皆様よろしくお願ひいたします。

本日の例会は、会員卓話で猪股会員より「母子の健康月間」について卓話を頂きます。宜しくお願ひ致します。

幹事報告 里幹事

1. 基隆東RCより週報
2. 八代市より「やつしるNPO情報！」第71号
3. 熊本県暴力追放運動推進センターより暴追速報
4. 八代南RC写真入りポケットサイズ名簿配付
5. 例会終了後、理事会開催

スマイルBOX 鶴田会員

緒方会員（八代東RC）：久しぶりに、お伺い致しました。宜しくお願ひ致します。

小林会員：誕生祝、結婚記念日のお祝いありがとうございました。

緒方会員：チャーターメンバーの但一人の生き残りとして47年が過ぎました。齢81歳となり、80の壁を痛感してます。今後も健康に留意して、続けたいと思えます。

(以上 8,000円 累計 540,000円)

インターアクトスマイル 鶴田会員

山本会員：インターアクトクラブの活動資金としてスマイルします。

(以上 1,000円 累計 100,000円)

国際奉仕委員会 下田委員長

基隆東RC訪問の方へ。パスポートとキャッシュをお忘れなく。

雑誌委員会 前田委員長

「ロータリーの友」4月号タテ組20頁

ロータリーアットワーク紹介（4頁に掲載）

ロータリー財団委員会 鶴田委員長

VSOP

氏名	今回の寄付金額
前田会員(コインランドリーマンマチャオ八代店)	2,820円

卓話 母子の健康月間について 猪股会員

4月はロータリーの特別月間「母子の健康月間」ということでお話しをということでしたので務めさせていただきます。

私は、肝移植もしてきましたが、元来は小児外科医です。小児外科も母子保健に関係があります。小児外科はあまりなじみのない科と思えますが、時々ドラマになったり、最近では、昨年秋にあったPICUというドラマで、小児集中治療室（PICU）のチームの一員として小児外科医が存在しました。

小児外科は、新生児から高校生くらいまでを扱う外科です。脳や心臓、骨や関節以外、体のたいがいのところの障害に広く対応します。新生児外科は、新生児の奇形の治療、乳幼児になると、いわゆる脱腸と言われる鼠径ヘルニアが多く、これが小児外科で一番多い手術です。学童以上になると、虫垂炎など大人の外科に近くなりますが、胃がんなど内臓のがんなどは年齢的にはほぼありません。

ご承知のように、出生数は年々減少し、昨年はついに80万人を切りました。私は昭和28年ですので、今の出生数はその頃の半分です。ただ、新生児の外科症例は、出生数が減っても少し増えています。さらに、新生児医療の中では外科はそのごく一部で、主には、新生児科という小児科の先生が扱う、小さく産まれてしまった子を管理して大きくそだてる、という仕事を中心にあります。出生数は減少しても、新生児外科対象の先天奇形や、小さく産まれる赤ちゃんの割合は減少せず、全体の約9.4%を占めています。晩婚が増えている事も影響していますが、出生数が減る一方で、内科的にも外科的にも、治療管理を要する新生児が増えているというのが日本の現状であり、新生児医療が少ない新生児を大切に育てる手立てとなっています。

新生児の管理には、新生児集中治療ユニット（NICU）という、高価な器械に溢れた特別な病棟が必要になります。要するに、小児の医療にも、非常にお金がかかるわけです。

1才未満の乳児死亡率の国別比較をみると、日本は、世界で最低です。最上位にはアフリカの諸国が並びます。こどもを助けたい、と思うのは世界共通と思えますが、やはり経済力、あ

るいは保険制度というのも大きく影響すると思います。その点、やはり日本は素晴らしい国だと思います。

19才までの子供の死因では、乳児では先天奇形が第一位ですが、1才を超えると不慮の事故、というのが出てきます。先ほど言いましたように、日本の乳児死亡率はとても低いのですが、それ以後の1～4才の死亡率は他の国に比べてさほど低くありません。行政は、小児の救急医療の現状がこの点に影響していると考え、その体制を充実させようとしています。熊本労災病院は二次救急医療機関になりますが、それより高度な医療を要する小児の受け入れ先とその搬送手段の充実が必要です。熊本県は、この救命救急医療機関は熊本赤十字病院、であり、ドクターヘリ、ドクターカーも完備しています。

母子手帳は日本で生まれたひとつの文化で、今や世界に紹介され、世界の母子保健に活かされています。原型は戦前の1942年にできており、今や内容も充実し、予防接種の予定や記録はもちろん、親が書き込むところも多いようです。数年前に、全国一律にウンチの色を自己判断してもらおうページもついています。これによって、赤ちゃんの肝臓の病気を早期に見つけようという試みです。

さて、母子保健には、生まれる前のお母さんの問題もあります。日本の妊産婦死亡率は、戦後70年で、ほとんどゼロになりました。終戦直後の率で言うと、県内で仮に2万人の妊婦さんがいると、約35人亡くなっていた計算になりますが、今はそんなことはありません。妊産婦死亡率は世界一低いとは言えませんが、かなり低いほうです。ただ、決してゼロではありません。お産の場所も大きく変わって、1950年にはほとんど自宅出産だったものが、今は診療所（開業の産科の先生）と病院とではぼすべてです。中にはリスクを持った妊婦さんもいるので、そのような方は、労災病院も含めた、緊急手術もできる病院での出産が求められます。しかし、困ったことに産科の先生が増えません。時間を問わない仕事のきつさと、これまで逮捕までされたこともあるような妊婦・新生児死亡への責任の負担が大きいことによるかと思います。このお産を扱う医師の減少は地域差が大きいのですが、熊本県はほぼ全国一少ない状態です。お産を扱

う総合病院は、現在県内で7つ、うち熊本市内が3つです。県南は、労災病院と水俣医療センターですが、人吉も含めて県南では当院のみが安定した24時間対応です。しかし、大学医局からの医師派遣は年々厳しくなっていて当院もずっとこのような体制が可能かはわかりません。

最後にこどもの自殺についてです。死因統計では、10才以上では死因の上位に自殺が出てきます。特に、10～19才、中高校生で最近増加傾向です。ニュースでも話題になりましたが、昨年の高校生以下の自殺者が512名と過去最多になりました。特に、高校生男子の増加が著しいようです。勉強や進路、入試などが原因とされますが、多い月は、6月、3月、9月、という、環境が変わったり、いろいろ考えたり、休み明けだったり、という時期に多いようです。多感な時期では、子供さんの雰囲気の変遷を察知する関係を作っておくのが大事です。自殺に加えて、児童虐待の相談件数も近年急増しています。うちの病院でも、年間数人は児童相談所に相談をしています。身近な問題です。もう一点、というかこれが今の日本では大きいことですが、特に一人親世帯での貧困率が、OECD諸国中最多です。私の外来にも、シングルマザーが小学生の便秘の子をつれてきましたが、4人兄弟を育てていて、1日1食しか満足に食べていない、お菓子が主食、と言う生活環境の家庭が実は結構あります。国も対策をまさに考えているようですが、もう少し、地域全体で育てるような昔の環境にもどればなと思います。

子供が元気で生まれて健康に成長するのは決して普通のことではなく、奇跡です。ですから、妊婦さんに優しく、出生を祝い、お母さんをいたわり、みんなで暖かく子供を育てましょう。

定例理事会 議事録

日時：4月11日(火) 13:30～

出席者：前田・鶴田・西崎・洲上・下田・塚本・神菌・里の各会員

オブザーバー：緒方・市野・飛石の各会員

- ・5月の移動例会について報告事項
- ・9日(火) 懐良親王御陵清掃（移動例会）社会奉仕委員会に詳細確認
- ・23日(火) 休会（第4週目）
- ・30日(火) 松浜軒へ職場訪問例会（移動例会）



ロータリー ネットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

本の再生事業で インターアクターが活躍

秀岳館高校・やつしろ・八代白百合学園高校IAC
第2720地区・熊本県

八代市は昨年5月、国から「SDGs未来都市」に選定されたことを受け、1月21日に「やつしろSDGsキックオフシンポジウム」を開催しました。その際、八代市内にある秀岳館高校、八代高校・中学校、八代白百合学園高校の3校のインターアクトクラブの代表が、八代市内の高校10校のSDGs（持続可能な開発目標）に関する取り組みを調査して発表しました。インターアクターたちは、市民向けにインターアクトクラブの概要についても説明し、文化面でのSDGsとして、地域の祭り「八代妙見祭」を次世代に継承すべく、制作した動画の放映を行いました。この動画は、インターアクターが民間企業と共同して撮影・編集したものです。

併せて、身近なSDGsを推進するため、初めて3クラブで共同事業を実施。事前に各校で生徒や先生から不要となった小説や絵本、学習書を回収し、シンポジウム会場で本と引き換えに寄付を募るという内容で、その名も「RE BOOK PRO JECT」。集まった資金は、教育や健康の分野で活用してもらえるよう、ロータリー財団とユニセフに寄付しました。

当日は多くの市民からたくさん募金が集まり、「身近なSDGsの取り組みとしてとても良い」「高校生が頑張っている姿を見て自分たちも頑張ろうと思った」「本は早速、子どもが喜んで読んだ」などの感想をもらい、取り組みの発表も含めて、インターアクトの可能性や、活力を地域にアピールできました。八代市からも各クラブの活動への期待と、インターアクターに対する感謝の言葉を頂くことができました。

（八代南RC 富見之介・記）